

『こもガク祭 × 大日本市菰野博覧会』開催します

2018年 10月12日 [金] - 14日 [日]

(こもガク塾は10月6日 [土] ~ 14日 [日] の開催になります。)

菰野町が工芸と出逢う3日間

こもガク



大日本市
菰野博覧会

“こものを学ぶ”をコンセプトに活動する“こもガク”と、“日本の工芸を元気にする!”というビジョンのもと活動する中川政七商店「大日本市博覧会」が、三重県菰野町の地で相見える一。

人口4万人の町に、それでもさまざまな顔がある町。“学ぶ”を通じて、いったいどんなことが起こるのか。モノづくりと、いろいろなできごとと、“学ぶ”で出逢う3日間。

きっと、こものとくらしたくなる。

大日本市菰野博覧会



創業302年の奈良の老舗、中川政七商店が、全国の工芸産地と手を組み「日本の工芸を元気にする!」大日本市博覧会プロジェクトは、産地で工芸と出会い、学び、体験し、五感を使って土地の魅力を再発見するイベントです。今年は三重県菰野町で開催します。中川政七商店の期間限定ショップや、東海地方の優れたモノづくりの展示販売、ゲストを招いてのトークイベントなど、菰野町の魅力を最大限活用し、多彩なコンテンツをご用意してお待ちしております。

こもガク宣言

御在所岳のふもと、豊かな水と肥沃な大地に生まれ、
農・商・工・観が息づいたこの町は人口が4万人を超えました。
高速道路も近い将来整備されていく中で、
4万人分の想いを抱えてこの町は大きく変化しようとしています。

我々は、その大きな局面を前に、
“ほんとうのこもの”を知りたいと思いました。

脈々と継がれてきた歴史や文化などの過去のコト。
今を生きる人たちの想いや活動などの現在のコト。
そこから気づき創っていくこれからの未来のコト。

“ほんとうのこもの”を知る人を増やしたい。
もっともものに関わろうとする人たちを増やしたい。
そして、良心あるミライをともに考えていきたい。
町民ひとりひとりが、主体的に町に関わり
優しさに溢れた町を目指す。

来るべき未来に備えて、己を知り、敵を知れば、百戦危うからず
こもの未来を考え続けるために
もっともものを学ぶことを
ここに宣言します。

こもガク祭実行委員会

稲波伸行／山口典宏／西田太郎／服部慎司／伊藤寿美子／矢田麻里子／柵山咲子／北住尚己／
出口功／堀内あかね／信藤京子／院南桂／川村達也／佐藤大介／黒田裕次／柴田啓示／
菰野町観光産業課職員／菰野町商工会職員

企画内容

●こもガク祭

もっともものを知るために、老若男女が参加でき楽しみながら学びを得る場。

マルシェ・塾からなる官民一体となって開催するイベントです。

主役は、町で生きるみなさんです。

こものに生きるみなさんを、中の人にも外の人にも、

もっともっと知ってもらいたい。

どんな小さいことでもけっこうです。

自分の“つくり手”としての技術を生かして参加してください。

“つくり手”

腕に自信のあるプロはもちろん

「私のぬか漬けは評判がいいの」といった自慢の逸品があれば、

一般の方も積極的に参加してください！

●参加資格

こものを愛する心を持った“つくり手”

菰野町に愛を持って関わりたいと思っている方。

詳細は、各事業の条件を参照してください。

●参加条件

こもガク塾

“つくり手”の想い、技術を、町民が町内の“つくり手”から学ぶ、伝える講座形式での企画になります。座学でも体験教室でもワークショップでも可能です。
職人さんや農家さん、企業さん、伝えたいことがある方向けの企画です。

- ・開催日 : 平成30年10月6日(土)～14日(日)
- ・会場 : 町内全域
企画内容に必要な場所で、屋内、屋外自由ですが、開塾者にて確保をお願いします。
- ・内容 : 各商店などの専門性や特徴を生かした塾で体験型企画です。
- ・講師 : 町内の全ての“作り手”の方。
- ・参加費 : 自由に設定いただき、開塾者さまにて徴収していただきます。
- ・問合せ・申込 : 開塾者さまにて直接ご対応下さい。
- ・集客 : 原則として開塾者さまにて行っていただきます。
公式チラシやウェブでの告知はさせていただきます。
- ・募集概要 :

参加対象者 町内に本店又は支店を置く商店などを有し、趣旨に賛同し積極的に参加を希望する事業者

参加条件 塾実施後、アンケートを提出すること

参加申込方法 菰野町商工会ホームページの申込フォームから申込み
(申込フォームが不可の場合はFAXも可。事務局にご連絡ください。)

参加負担金 一律500円及び売上の20%(商工会会員は売上の10%)